

令和6年度「卒業生等・企業等アンケート調査」集計結果

1. 調査目的

本学卒業生等の学生生活への満足度や学修成果，また，企業からみた本学卒業生等への評価を把握し，教育に関する内部質保証，教育のさらなる改善に役立てるため実施。

2. アンケート項目

別紙のとおり

3. 調査対象

(1) 卒業生アンケート

令和2年度卒業生等（卒業・修了3年後）

(2) 企業等アンケート

令和2年度卒業生等（卒業・修了3年後）が就職している企業等（一時的な仕事に就いた者，医学部の卒業生，教員は除く。）

前回までは2名以上の就職企業等のみを対象としていたが，今回からすべての就職企業等を対象とした。

4. 実施方法

- ・Webアンケートシステム Forms を利用して Web 上で行う。
- ・アンケート依頼ハガキ（アドレス記載）並びに登録メールアドレスに送付する。
今回からハガキの送付に加え，キャリアセンター登録のメールアドレスにも送付した。

5. 回答率

(1) 卒業生アンケート

20.85%（298件／1,429件） 前回 12.91%（187件／1,448件）

(2) 企業等アンケート

31.85%（214件／672件） 前回 20.72%（115件／553件）

(1) 卒業生アンケート

I 基本事項について

問1 在籍していた学部・学科、研究科等をお知らせください。

所属	回答数	比率
人文社会科学部	48	16%
文化創生課程	23	
社会経営課程	25	
人文学部	4	1%
現代社会課程	2	
経済経営課程	2	
教育学部	30	10%
学校教育教員養成課程	23	
養護教諭養成課程	6	
生涯教育課程	1	
医学部医学科	6	2%
医学部保健学科	44	15%
看護学専攻	17	
放射線技術科学専攻	8	
検査技術科学専攻	12	
理学療法学専攻	3	
作業療法学専攻	4	
理工学部	65	22%
数物科学科	13	
物質創成化学科	9	
地球環境防災学科	8	
電子情報工学科	10	
機械科学科	12	
自然エネルギー学科	11	
数理科学科	1	
物理科学科	0	
地域環境工学科	0	
知能機械工学科	1	
農学生命科学部	42	14%
生物学科	1	
分子生命科学科	7	
食料資源学科	10	
国際園芸農学科	13	
地域環境工学科	11	
計	239	80%

所属	回答数	比率
人文社会学研究科	2	1%
文化科学専攻	0	
応用社会科学専攻	2	
教育学研究科	11	4%
学校教育専攻	1	
教職実践専攻	8	
教科教育専攻	2	
医学研究科 医科学専攻	3	1%
保健学研究科	3	1%
(博士前期専攻)保健学専攻	3	
(博士後期専攻)保健学専攻	0	
理工学研究科	24	8%
(博士前期課程)理工学専攻	24	
(博士後期課程)	0	
農学生命科学研究科	13	4%
農学生命科学専攻	13	
地域社会専攻	3	1%
計	59	20%

総計	298
-----------	------------

問2 現在の職業(業種)をお知らせください。

- (選択肢) 1. 農業・林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業
 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業(店員含む)
 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業
 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業
 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. サービス業(他に分類されないもの)
 19. 公務 20. アルバイト・フリーター 21. 無職・家事手伝い 22. その他

所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人文社会科学部				3	3	1	9		3	2	2
人文学部						1					
教育学部									1		2
医学部医学科											
医学部保健学科					1						
理工学部				7	22	7	12		1	1	
農学生命科学部	4			8	7				7	1	
人文社会学研究科				1							
教育学研究科					1						
医学研究科											
保健学研究科											
理工学研究科				2	13	2	5				
農学生命科学研究科	1		1		1		3				
地域社会研究科							1				
総計	5		1	21	48	11	30	0	12	4	4
比率	1.7%	0.0%	0.3%	7.0%	16.1%	3.7%	10.1%	0.0%	4.0%	1.3%	1.3%

所属	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
人文社会科学部	2			1	3		1	15	1	2	
人文学部				1	1			1			
教育学部				19				6		1	1
医学部医学科					6						
医学部保健学科	1			1	37			2			2
理工学部	2			4		1	1	5			2
農学生命科学部	2				1			9		2	1
人文社会学研究科								1			
教育学研究科				6				4			
医学研究科				1	1						1
保健学研究科				1	2						
理工学研究科	1										1
農学生命科学研究科	2			1			1	2			1
地域社会研究科				2							
総計	10			37	51	1	3	45	1	5	9
比率	3.4%	0.0%	0.0%	12.4%	17.1%	0.3%	1.0%	15.1%	0.3%	1.7%	3.0%

その他

・IT、団体職員・、学生、IT サービス業、博士課程学生、博士課程、税理士法人、大学院博士課程、自営業(音楽家)

問3 就職・進学先は、入学時に希望していた進路と一致しますか。

所属	希望どおり	大体希望どおり	希望どおりではないが満足している	希望どおりではなく満足していない	希望する進路がなかった
人文社会科学部	13	12	16	3	4
人文学部	1	1	1		1
教育学部	18	7	4	1	
医学部医学科	2	2	1		1
医学部保健学科	21	20	2	1	
理工学部	15	26	17	1	6
農学生命科学部	6	19	13	3	1
人文社会学研究科		2			
教育学研究科	8	2	1		
医学研究科	1		1		1
保健学研究科	3				
理工学研究科	3	13	6		2
農学生命科学研究科	3	3	6		1
地域社会研究科	2	1			
総計	96	108	68	9	17
比率	32.2%	36.2%	22.8%	3.0%	5.7%

II 本学在学中の教育や学生支援について

問4 教育内容に、全体として満足でしたか。

所属	満足だった	どちらかといえば満足だった	一概に言えない	どちらかといえば不満足だった	不満足だった
人文社会科学部	24	15	6	3	
人文学部		3	1		
教育学部	15	15			
医学部医学科	1	1	1	1	2
医学部保健学科	14	22	6	2	
理工学部	14	35	14	2	
農学生命科学部	9	26	5	2	
人文社会学研究科	1				1
教育学研究科	8	2		1	
医学研究科	2	1			
保健学研究科	2		1		
理工学研究科	5	12	6	1	
農学生命科学研究科	3	8	2		
地域社会研究科	2	1			
総計	100	141	42	12	3
比率	33.6%	47.3%	14.1%	4.0%	1.0%

問5 学習や研究に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。

所属	十分だった	不足していたが学習や研究はできた	一概に言えない	不十分で学習や研究がやりにくかった	不十分で学習や研究ができなかった
人文社会科学部	29	15	4		
人文学部	1	3			
教育学部	20	7	3		
医学部医学科	1	1	1	2	1
医学部保健学科	25	11	8		
理工学部	24	28	12	1	
農学生命科学部	22	11	7	2	
人文社会学研究科	1	1			
教育学研究科	7	3	1		
医学研究科	1	2			
保健学研究科	2		1		
理工学研究科	7	8	7	1	1
農学生命科学研究科	4	8	1		
地域社会研究科	3				
総計	147	98	45	6	2
比率	49.3%	32.9%	15.1%	2.0%	0.7%

問6 課外活動に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。

所属	十分だった	不足していたが課外活動はできた	一概に言えない	不十分で課外活動がやりにくかった	不十分で課外活動ができなかった
人文社会科学部	26	12	8	2	
人文学部	3			1	
教育学部	21	5	3	1	
医学部医学科	1	1	2		2
医学部保健学科	26	7	11		
理工学部	27	14	20	4	
農学生命科学部	25	6	9	2	
人文社会学研究科	1	1			
教育学研究科	6	2	2	1	
医学研究科	1	1	1		
保健学研究科	2		1		
理工学研究科	7	3	12	2	
農学生命科学研究科	5	1	6		1
地域社会研究科	3				
総計	154	53	75	13	3
比率	51.7%	17.8%	25.2%	4.4%	1.0%

問7 就職活動への支援は十分でしたか。

所属	十分だった	不足していたが就職活動に問題はなかった	一概に言えない	不十分で就職活動に苦労した	不十分で就職活動ができなかった
人文社会科学部	29	10	7	2	
人文学部	2	1	1		
教育学部	21	2	5	2	
医学部医学科	1	1	2	1	1
医学部保健学科	29	6	9		
理工学部	27	17	18	3	
農学生命科学部	23	7	7	5	
人文社会学研究科	1			1	
教育学研究科	7	1	3		
医学研究科	2		1		
保健学研究科	2		1		
理工学研究科	11	4	8	1	
農学生命科学研究科	5	3	5		
地域社会研究科	1		2		
総計	161	52	69	15	1
比率	54.0%	17.4%	23.2%	5.0%	0.3%

Ⅲ 学生生活で感じたこと、身についたと思うことについて

問8 弘前大学では、次の①から④に掲げる知識や資質を身に付けた学生に対して、学位を授与する旨の方針を明確にしました。それらは身に付いたと思われませんか。

①学際的な教養と高度な専門性

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	14	22	6	6	
人文学部	1	1	1	1	
教育学部	10	16	3	1	
医学部医学科		2	1	1	2
医学部保健学科	7	32	4	1	
理工学部	10	35	13	7	
農学生命科学部	6	32	1	3	
人文社会学研究科	1		1		
教育学研究科	6	4	1		
医学研究科	2	1			
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	5	15	2	2	
農学生命科学研究科	3	9	1		
地域社会研究科	1	2			
総計	67	173	34	22	2
比率	22.5%	58.1%	11.4%	7.4%	0.7%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	17	22	7	2	
人文学部	2	1	1		
教育学部	8	14	8		
医学部医学科		2	1		3
医学部保健学科	7	25	12		
理工学部	17	28	12	6	2
農学生命科学部	11	22	6	3	
人文社会学研究科	1		1		
教育学研究科	5	6			
医学研究科	2	1			
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	4	13	4	2	1
農学生命科学研究科	6	5	2		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	82	142	55	13	6
比率	27.5%	47.7%	18.5%	4.4%	2.0%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	10	22	16		
人文学部	1	1	2		
教育学部	7	14	7	2	
医学部医学科		2	1	1	2
医学部保健学科	7	20	16	1	
理工学部	9	24	16	12	4
農学生命科学部	5	18	12	6	1
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	4	5	2		
医学研究科	2	1			
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	3	8	7	4	2
農学生命科学研究科	2	2	7	1	1
地域社会研究科	1	1	1		
総計	52	121	88	27	10
比率	17.4%	40.6%	29.5%	9.1%	3.4%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	15	24	8	1	
人文学部	1	2	1		
教育学部	13	12	5		
医学部医学科		2	1	1	2
医学部保健学科	7	27	9	1	
理工学部	21	29	8	6	1
農学生命科学部	7	23	7	4	1
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	5	6			
医学研究科	2	1			
保健学研究科	2		1		
理工学研究科	7	8	5	3	1
農学生命科学研究科	1	11	1		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	82	147	48	16	5
比率	27.5%	49.3%	16.1%	5.4%	1.7%

問9 教養教育科目について

教養教育科目の目的は、「主体的・能動的学修への転換」、「文理融合教育による多面的な視点や思考法の獲得」、「国際共通語としての英語能力の獲得」、「地域志向性（地域が持つ強みや課題の理解、課題解決への意欲等）の涵養」、「国際性（異文化理解、多文化共生等）の涵養」でしたが、それらは身に付いたと思えますか。

①主体的・能動的学修態度

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	11	24	9	3	1
人文学部	1	2		1	
教育学部	11	16	1	1	1
医学部医学科		2	2		2
医学部保健学科	6	28	9	1	
理工学部	14	29	14	7	1
農学生命科学部	5	25	8	4	
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	4	6	1		
医学研究科	2	1			
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	4	11	5	4	
農学生命科学研究科	4	6	3		
地域社会研究科	1		2		
総計	64	153	55	21	5
比率	21.5%	51.3%	18.5%	7.0%	1.7%

②多元的な視点や思考法

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	14	27	5	2	
人文学部	1	3			
教育学部	11	17	1		1
医学部医学科		2	1	1	2
医学部保健学科	7	29	8		
理工学部	15	37	5	7	1
農学生命科学部	7	30	3	2	
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	5	5	1		
医学研究科	2	1			
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	7	10	5	2	
農学生命科学研究科	3	7	3		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	74	172	34	14	4
比率	24.8%	57.7%	11.4%	4.7%	1.3%

③国際共通語としての英語能力

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	6	15	8	12	7
人文学部	1			3	
教育学部	2	10	9	6	3
医学部医学科		1	1	1	3
医学部保健学科	3	10	13	12	6
理工学部	4	12	19	15	15
農学生命科学部	3	10	9	13	7
人文社会学研究科				1	1
教育学研究科	2	3	3		3
医学研究科	2	1			
保健学研究科		1		1	1
理工学研究科	2	4	6	8	4
農学生命科学研究科		3	3	6	1
地域社会研究科			3		
総計	25	70	74	78	51
比率	8.4%	23.5%	24.8%	26.2%	17.1%

④地域志向性

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	15	29	3		1
人文学部	1	1	1		1
教育学部	8	13	7	1	1
医学部医学科	1	1	2		2
医学部保健学科	10	19	10	3	2
理工学部	13	21	18	10	3
農学生命科学部	12	22	3	3	2
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	4	6	1		
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	1	1		
理工学研究科	6	9	2	4	3
農学生命科学研究科	2	2	7	2	
地域社会研究科	1	1	1		
総計	76	126	58	23	15
比率	25.5%	42.3%	19.5%	7.7%	5.0%

⑤国際性

所属	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	7	16	12	11	2
人文学部	1	1		1	1
教育学部	3	9	7	6	5
医学部医学科		1	1	1	3
医学部保健学科	3	14	8	13	6
理工学部	3	13	28	12	9
農学生命科学部	6	13	9	7	7
人文社会学研究科				1	1
教育学研究科	2	1	6		2
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	1	1		
理工学研究科	4	4	4	9	3
農学生命科学研究科	1	2	4	5	1
地域社会研究科			3		
総計	33	75	84	66	40
比率	11.1%	25.2%	28.2%	22.1%	13.4%

問10 特に仕事に関わることで、大学で学んだことや、経験が役に立っていると感じますか。

①学際的な教養と高度な専門性

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	7	19	15	5	2
人文学部	1	1	1	1	
教育学部	11	16	3		
医学部医学科		3	1		2
医学部保健学科	14	23	5	1	1
理工学部	10	30	10	12	3
農学生命科学部	4	22	5	9	2
人文社会学研究科		1			1
教育学研究科	7	3	1		
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	4	13	4	3	
農学生命科学研究科	1	7	5		
地域社会研究科	2		1		
総計	64	140	52	31	11
比率	21.5%	47.0%	17.4%	10.4%	3.7%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	10	23	10	4	1
人文学部	1	1	1	1	
教育学部	7	16	6	1	
医学部医学科		2	1		3
医学部保健学科	9	21	11	2	1
理工学部	9	29	17	7	3
農学生命科学部	6	25	3	6	2
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	5	5		1	
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	4	10	5	3	2
農学生命科学研究科	4	8	1		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	59	144	58	25	12
比率	19.8%	48.3%	19.5%	8.4%	4.0%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	6	16	20	3	3
人文学部	1		2	1	
教育学部	5	15	8	2	
医学部医学科		2	1		3
医学部保健学科	7	21	11	4	1
理工学部	5	20	23	13	4
農学生命科学部	3	17	9	10	3
人文社会学研究科			2		
教育学研究科	5	3	2	1	
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	3	7	7	6	1
農学生命科学研究科	2	3	7	1	
地域社会研究科	2		1		
総計	42	106	94	41	15
比率	14.1%	35.6%	31.5%	13.8%	5.0%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	14	25	8	1	
人文学部	1	1		2	
教育学部	11	14	5		
医学部医学科		2	1	1	2
医学部保健学科	9	24	8	2	1
理工学部	17	30	11	5	2
農学生命科学部	9	20	8	4	1
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	5	4	2		
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	8	9	5	2	
農学生命科学研究科	3	9	1		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	81	142	52	17	6
比率	27.2%	47.7%	17.4%	5.7%	2.0%

問 11 仕事以外の日常生活の中で、大学で学んだことや、経験が役に立っていると感じますか。

①学際的な教養と高度な専門性

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	7	19	15	5	2
人文学部	1	1	1	1	
教育学部	11	16	3		
医学部医学科		3	1		2
医学部保健学科	14	23	5	1	1
理工学部	10	30	10	12	3
農学生命科学部	4	22	5	9	2
人文社会学研究科		1			1
教育学研究科	7	3	1		
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	4	13	4	3	
農学生命科学研究科	1	7	5		
地域社会研究科	2		1		
総計	64	140	52	31	11
比率	21.5%	47.0%	17.4%	10.4%	3.7%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	10	23	10	4	1
人文学部	1	1	1	1	
教育学部	7	16	6	1	
医学部医学科		2	1		3
医学部保健学科	9	21	11	2	1
理工学部	9	29	17	7	3
農学生命科学部	6	25	3	6	2
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	5	5		1	
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	4	10	5	3	2
農学生命科学研究科	4	8	1		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	59	144	58	25	12
比率	19.8%	48.3%	19.5%	8.4%	4.0%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	6	16	20	3	3
人文学部	1		2	1	
教育学部	5	15	8	2	
医学部医学科		2	1		3
医学部保健学科	7	21	11	4	1
理工学部	5	20	23	13	4
農学生命科学部	3	17	9	10	3
人文社会学研究科			2		
教育学研究科	5	3	2	1	
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	3	7	7	6	1
農学生命科学研究科	2	3	7	1	
地域社会研究科	2		1		
総計	42	106	94	41	15
比率	14.1%	35.6%	31.5%	13.8%	5.0%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

所属	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	14	25	8	1	
人文学部	1	1		2	
教育学部	11	14	5		
医学部医学科		2	1	1	2
医学部保健学科	9	24	8	2	1
理工学部	17	30	11	5	2
農学生命科学部	9	20	8	4	1
人文社会学研究科		1	1		
教育学研究科	5	4	2		
医学研究科	2		1		
保健学研究科	1	2			
理工学研究科	8	9	5	2	
農学生命科学研究科	3	9	1		
地域社会研究科	1	1	1		
総計	81	142	52	17	6
比率	27.2%	47.7%	17.4%	5.7%	2.0%

IV 在学生のため、今後の教育や学生支援に必要と思われること

問 12 今後どのような力を育成する教育の充実が望ましいですか。(○はいくつでも可。)

- (選択肢) 1. 専門的知識・技能 2. 基礎的知識・技能 3. 情報収集力 4. 論理的思考力
 5. コミュニケーション力 6. 自己管理力 7. 周囲(他者)へ配慮する力 8. 倫理観
 9. 社会的責任等の態度・志向性 10. 課題探求能力 11. 問題解決力 12. その他

所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
人文社会科学部	18	17	28	26	33	20	17	12	17	15	14	2
人文学部	2	2	3	2	4	1	3		2	1	2	1
教育学部	16	15	15	17	19	16	15	12	14	16	15	1
医学部医学科	3	2	3	4	3	2	2	1	1	2	2	
医学部保健学科	26	23	21	20	31	19	19	13	20	15	16	1
理工学部	28	25	33	27	45	35	18	8	13	17	26	
農学生命科学部	15	17	15	19	31	13	15	9	14	20	19	1
人文社会学研究科		1	1		2					1		
教育学研究科	8	4	5	4	9	6	7	3	2	2	5	
医学研究科	2	1			1			1		1	1	
保健学研究科	2		1	2	2	1	1		2	2	2	
理工学研究科	9	11	15	13	14	10	7	9	8	13	14	
農学生命科学研究科	6	7	10	9	9	4	4	2	4	5	4	
地域社会研究科			2	2	1	2		2			2	
総計	135	125	152	145	204	129	108	72	97	110	122	6

その他

- ・ 超専門的な技能が求められる場合は例外だが、それ以外であれば論理的思考力と判断材料の収集力が物を言うと感じているから。
- ・ 大学生として当たり前の素行を行うことができる能力と大学教授の身勝手な言動や鼻根に屈しない力と弘前という小さなコミュニティで生き抜く世渡りと良い教師や学生友達、地域の方などとの人脈を作っていく力
- ・ 会社組織での立ち振る舞い方や成長の仕方、実践力
- ・ ICT の活用力

問 13 問 12 以外のどの分野の支援を充実させることが望ましいですか。(○はいくつでも可。)

- (選択肢) 1. 部活・サークル活動(スポーツ中心) 2. 部活・サークル活動(文化・研究中心)
 3. クラス担任制度 4. 研究室・ゼミナールの活動 5. キャリア教育
 6. インターンシップ 7. ボランティア活動 8. 地域貢献活動 9. 海外留学
 10. アルバイト 11. その他

所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人文社会科学部	10	14	7	30	15	26	4	11	9	14	1
人文学部		2	1	4	2	2			2		1
教育学部	9	4	7	17	11	5	7	10	3	8	
医学部医学科	3	3	1	3	2	2	2	2	3	1	1
医学部保健学科	12	10	7	18	20	19	10	10	15	10	
理工学部	20	16	2	35	28	32	3	8	10	11	1
農学生命科学部	11	5	4	27	13	18	5	10	14	9	
人文社会学研究科					2		1			1	
教育学研究科	2	3	1	4	2	5	2	4	2	2	
医学研究科				2	2						
保健学研究科			1	3	2	1					
理工学研究科	9	4	4	15	10	11		3	6	7	1
農学生命科学研究科	3	3		10	4	3	2	4	6	2	
地域社会研究科			1		1				1	1	
総計	79	64	36	168	114	124	36	62	71	66	5

その他

- ・白黒だけでなくカラーコピーが出来るようにすべき
- ・実習期間を短くして座学の時間を増やす
- ・海外に目を向けていく力に加え、そこにインターン要素があると望ましい
- ・イングリッシュラウンジなど
- ・IT 教育
- ・学習・研究する部屋の設備

問 14 今後なんらかの形で再び本学で学ぶとしたら、どのような機会にしたいですか。

- (選択肢) 1. 資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会
 2. 技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会
 3. 必ずしも仕事・職業とは関係のないことを広く教養として学ぶ機会
 4. その他のことで学ぶ機会
 5. 学ぶ機会ということでは特に希望することはない
 6. その他

所属	1	2	3	4	5	6
人文社会科学部	25	3	17	1	2	
人文学部		2	2			
教育学部	17	6	5		2	
医学部医学科	3		1		1	1
医学部保健学科	23	1	18	1	1	
理工学部	21	14	21		8	1
農学生命科学部	16	9	14	2	1	
人文社会学研究科		1	1			
教育学研究科	8		2		1	
医学研究科	2		1			
保健学研究科	2		1			
理工学研究科	15	1	6		2	
農学生命科学研究科	7	3	2		1	
地域社会研究科			2		1	
総計	139	40	93	4	20	2
比率	46.6%	13.4%	31.2%	1.3%	6.7%	0.7%

その他

- ・ 仕事で起きた問題を学術的な視点からとらえなおす

(2) 企業アンケート

回答数 214 件

I 基礎項目

1. 所在地

	回答数	比率
青森県	50	23.4%
東京都	42	19.6%
北海道	42	19.6%
岩手県	18	8.4%
宮城県	17	7.9%
神奈川県	11	5.1%
埼玉県	6	2.8%
秋田県	6	2.8%
愛知県	3	1.4%
新潟県	3	1.4%
静岡県	3	1.4%
千葉県	3	1.4%
大阪府	2	0.9%
茨城県	1	0.5%
群馬県	1	0.5%
香川県	1	0.5%
栃木県	1	0.5%
奈良県	1	0.5%
富山県	1	0.5%
福井県	1	0.5%
兵庫県	1	0.5%

2. 業種

	回答数	比率
1. 農業・林業	2	0.9%
2. 漁業		0.0%
3. 鉱業、採石業、砂利採取業		0.0%
4. 建設業	10	4.7%
5. 製造業	36	16.8%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.9%
7. 情報通信業	27	12.6%
8. 運輸業、郵便業	2	0.9%
9. 卸売業、小売業	22	10.3%
10. 金融業、保険業	7	3.3%
11. 不動産業、物品賃貸業	4	1.9%
12. 学術研究、専門・技術サービス業	14	6.5%
13. 宿泊業、飲食サービス業	1	0.5%
14. 生活関連サービス業、娯楽業		0.0%
15. 教育、学習支援業	13	6.1%
16. 医療、福祉	29	13.6%
17. 複合サービス事業		0.0%
18. サービス業(他に分類されないもの)	12	5.6%
19. 公務	29	13.6%
20. その他	4	1.9%

3. 現在の弘前大学卒業生の在職者数 (大学院修了生を含む)

	回答数	比率
0～10 人未満	161	75.2%
10～20 人未満	21	9.8%
20～50 人未満	14	6.5%
50 人以上	15	7.0%
不明	3	1.4%

II 調査項目

1. 採用に当たってどのような点を重視しましたか。

①幅広い教養

	回答数	比率
重視する	29	13.6%
どちらかといえば重視する	107	50.0%
一概に言えない	68	31.8%
どちらかと言えば重視しない	9	4.2%
重視しない	1	0.5%

②専門分野の知識・技能

	回答数	比率
重視する	33	15.4%
どちらかといえば重視する	75	35.0%
一概に言えない	75	35.0%
どちらかと言えば重視しない	23	10.7%
重視しない	8	3.7%

③職業人としての基礎的な力

	回答数	比率
重視する	45	21.0%
どちらかといえば重視する	111	51.9%
一概に言えない	51	23.8%
どちらかと言えば重視しない	5	2.3%
重視しない	2	0.9%

④社会人としての基礎的な力

	回答数	比率
重視する	83	38.8%
どちらかといえば重視する	106	49.5%
一概に言えない	23	10.7%
どちらかと言えば重視しない	2	0.9%
重視しない	0	0.0%

⑤課題探究・問題解決に係る基礎的な力

	回答数	比率
重視する	60	28.0%
どちらかといえば重視する	119	55.6%
一概に言えない	34	15.9%
どちらかと言えば重視しない	1	0.5%
重視しない	0	0.0%

⑥その他

	回答数	比率
重視する	65	30.4%
どちらかといえば重視する	37	17.3%
一概に言えない	68	31.8%
どちらかと言えば重視しない	43	20.1%
重視しない	0	0.0%
回答なし	1	0.5%

その他

- ・コミュニケーション能力・スキル・力
- ・相手の話の理解度・会話の仕方
- ・様々な年代の方と分け隔てなく接すること
- ・人と接することが好きかどうか
- ・(物事を順序だてて理論的に分かりやすく説明できる力
- ・社会課題全般への興味関心。
- ・ストレス耐性
- ・チームワーク、
- ・チャレンジ精神
- ・挨拶、礼儀、言葉遣い、振る舞い
- ・意欲、研究への取組姿勢
- ・一次筆記試験で基礎学力を確認し、二次面接試験で本人の人となりを確認することで総合的に判断している。
- ・何事も前向きに取り組もうと考えることができること。
- ・会社理念への共感度。仲間として育てたいか。
- ・学生時代に力を入れたこと、サークル活動やアルバイトなど
- ・関係構築力
- ・基本的な生活習慣
- ・協調性
- ・協調性のある、集団行動の出来る方を望みます。
- ・個々の成長性
- ・好奇心と努力
- ・今まで経験・実践した内容や困難な出来事があった際の対処方法
- ・今後のキャリアプランについて
- ・困難や脅威に直面している状況から回復する力
- ・産業保安行政に対する関心度、理解度、適正等

- ・ 仕事での対応力・柔軟性
- ・ 仕事に対する熱意
- ・ 仕事や職場への適応力
- ・ 志望動機
- ・ 施設を選んだ動機、今後の就業期間の見込み
- ・ 自己研鑽
- ・ 自分を表現できること。ある程度自分で自分を評価し、他人の反応を気にし過ぎず自分のことを伝えられること。
- ・ 自分事として捉え、主体的に行動できる力
- ・ 社会に対する関心度
- ・ 主体性(自ら考えて行動する力)
- ・ 受け答えから感じる人間性
- ・ 職種への興味、探究心
- ・ 信念
- ・ 真摯さ誠実さ、自己研鑽への意欲・行動
- ・ 人間性、協調性を重視します。
- ・ 人当たりの良さ 自己分析できているか
- ・ 人柄(チャレンジ精神、行動力、コミュニケーション能力等)
- ・ 性格、印象
- ・ 製造業への興味・関心
- ・ 誠実さ、
- ・ 積極性、前向きな思考
- ・ 責任感
- ・ 他社と協力して物事に取り組む力
- ・ 地頭の良さ
- ・ 挑戦意欲
- ・ 当社への志望度
- ・ 熱意、協調性
- ・ 物事を最後までやり抜く力(GRIT 力)
- ・ 弊社を志望する理由、熱意、やる気
- ・ 明るく健康的である。
- ・ 明るさや元気の良さ、素直さなど人間性の部分
- ・ 臨機応変に対応する能力
- ・ 連絡、報告など社会人として行動するにあたっての必要最低限のスキル

2. 本学では、次の①から⑤に掲げる知識や資質を身に付けた学生に対して、学位を授与する方針を掲げていました。本学卒業生は、それらが身に付いていると思われませんか。

①学際的な教養と高度な専門性

	回答数	比率
身に付いている	61	28.5%
どちらかと言えば身に付いている	100	46.7%
一概に言えない	51	23.8%
どちらかと言えば身に付いていない	1	0.5%
身に付いていない	1	0.5%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

	回答数	比率
身に付いている	42	19.6%
どちらかと言えば身に付いている	107	50.0%
一概に言えない	60	28.0%
どちらかと言えば身に付いていない	3	1.4%
身に付いていない	2	0.9%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

	回答数	比率
身に付いている	39	18.2%
どちらかと言えば身に付いている	99	46.3%
一概に言えない	72	33.6%
どちらかと言えば身に付いていない	2	0.9%
身に付いていない	2	0.9%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

	回答数	比率
身に付いている	64	29.9%
どちらかと言えば身に付いている	109	50.9%
一概に言えない	38	17.8%
どちらかと言えば身に付いていない	1	0.5%
身に付いていない	2	0.9%

その他

- ・ 一般事務職として採用したので、専門的な知識等は採用の可否に影響はありませんでした。
- ・ 皆さん非常にまじめで責任感が強く、組織のリーダーとして主体的に業務に取り組む姿勢が備わっています
- ・ 学生としての能力は十分であると判断します。
- ・ 貴大学が熱意ある学生を育てていることに、深く感謝申し上げます。
- ・ 現在の時点で身につけていないことは評価できるが、身につけている能力が、学校で得られたのか葉がわからないため、回答が難しい。
- ・ 採用にあたり、産業保安行政の専門は多岐に亘るとともに、日々技術の進展があるため、大学での専門を活かしていただくことを目的とする採用方針ではなく、④を最重要視し、人物本位で選定することとしています。
- ・ 専門知識は会社で教えます。専門性よりも、共同作業を重視して、協調性を育てていただきたいです。
- ・ 専門病院勤務医として専門資格や学位を取得できない点で評価は低い。
- ・ 当社はサステナビリティ分野を得意とする人材サービス事業を行っております。貴校を修了し、2021年4月に入社した社員は、本人の専門性も活かしながら周辺の社会課題に関する情報収集やコミュニケーション能力を活かして活躍中です
- ・ 当組合で採用している貴学卒業生は主に事務職に就いているが、入職段階では高度な専門性を求めている。課題に真摯に向き合い、解決に向けて取り組む姿勢は評価している。
- ・ 日々仕事にひたむきに励んでいただき、当社にとって大切な人材となっております。

3. 本学の教育について求めるものをお伺いします。

(1) 今後どのような力の育成を充実するのが望ましいと思われませんか。(3つまで可)

	回答数
1. 専門的知識・技能	40
2. 基礎的知識・技能	56
3. 情報収集力	13
4. 論理的思考力	69
5. コミュニケーション力	167
6. 自己管理能力	52
7. 周囲(他者)へ配慮する力	49
8. 倫理観	20
9. 社会的責任等の態度・志向性	60
10. 課題探求能力	50
11. 問題解決力	62
12. その他	1

(2) 上記(1)以外のどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われませんか。(3つまで可)

	回答数
1. 部活・サークル活動(スポーツを中心に)	75
2. 部活・サークル活動(文化・研究を中心に)	43
3. クラス担任制度	12
4. 研究室・ゼミナールの活動	128
5. キャリア教育	125
6. インターンシップ	79
7. ボランティア活動	28
8. 地域貢献活動	78
9. 海外留学	10
10. アルバイト	51
11. その他	10

- ・ 上記選択はしましたが、概ね現在のままで良いと判断します。
- ・ 特にどの分野といったものはございません。
- ・ 他学部への留学、特に文系学生の理系学部の単位習得の奨励